

2023年9月20日

パソコン教室の窓から(63)

NPO 法人コミュニティNET ひたち(Cnet) 久保 裕

## AIによる人工生成の文章と音声・画像の悪用

最近、振込詐欺の電話があったことと、その退治のしかたについて、近所の奥さんから聞いた話。

先日、警察から奥さんに電話があったそうだ。

「お宅の息子さんが、現金窃盗の容疑で拘置所にいる。息子さんが現金を返済するのであれば被害は無かったことにしてもいいと言っている。現金を用意できませんか」

奥さんは、すぐに夫に、どうしようかと相談した。まずは、本人から事情を聴きたいので、

「自分の息子と直接話がしたい。息子に代わってほしい」と、夫が電話に出る。

「今は拘置所にいるので、弁護士を通してなどの手続きが必要になる」

と、警察もことなかれ主義的で、いい加減なことを言っている。

「うちの息子が、そんな悪事をしたのなら、そのまま拘置所に入れておいてください」

と、夫はきっぱり言って電話を切ったそうだ。

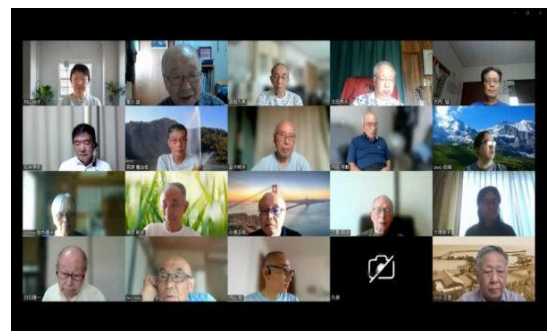
この対応はなかなか出来ない、立派だ！

まさに警察官に成り済ました、詐欺師からの電話だったのだ。

AIが進化して、自動生成の文章や画像ばかりではなく、音声や映像まで自動生成することが出来るようになる。ある人の話を録音して声紋を解析する。そしてデジタル文章をその人の声で読み上げるようにできる。ある人の顔や動作の映像を録画して解析する。顔認証技術や歩くロボットの動作制御技術が実用化している。そしてAI画像生成技術は、パソコンの中で、その人が現れて話しかけてくることを可能にする。一昨年のNHK紅白歌合戦で、AIで生成された美空ひばりの歌う姿が放映された。現実と非現実の区別が付かなくなる。過去に収録した映像でよいのではなかったかと思った。

振込詐欺の集団が組織化して、AI技術が悪用される。本人の映像や音声自動生成される。警察や弁護士に成り済まし、役割分担して電話に登場してくる。そのからくりを見破らないと詐欺に会い騙されてしまう。もう本物なのかAIによるものの区別をしようとしても無理になる。詐欺師に騙されないためには、本質を見て聞いて、自ら判断することだ。また、判断を決して急がないことだ。怪しいことや不明なことは再確認をすること、第三者や信頼できる人に相談することだ。

AIが進化している今、他人やAIに騙されないように、ますます自己責任が大事になってくる。



オンライン Cnet 技術交流会 8月28日

「チャットAI(生成AI)サービスについて」

星川雄 講師